

平成29年度北九州市八幡医師会事業計画

平成28年は英国のEU離脱、トランプ大統領の誕生など目まぐるしく世界が動きました。平成29年の日本経済におきましても、その影響が危惧される所です。我が国における少子高齢化、人口減少も加速化しており、平成22年の福岡県の総人口は507万2千人、平成37年には485万6千人と4万8千人(4.3%)減少すると予想されます。北九州市も総人口はすでに減少しており、政令指定都市では減少率は最も高くなっています。65歳以上の人口は平成32年、75歳以上の人口は平成42年がピークと予想され、現在65歳以上の総人口に占める割合は八幡西区で27.5%、八幡東区で34.5%ですが、平成32年には30.7%、36.8%、平成37年には31.8%、39.1%と推計されています。平成42年には後期高齢者75歳以上の割合がピークとなり、八幡西区21%、八幡東区27%となると予想されます。地域医療構想のデータをみますと人口当たりの一般病床、療養病床および医師数は全国平均を上回り、各医療機能も充実しており医療資源は豊富です。しかし来たるべき超高齢社会に向けて、病床の再編成は必至となっています。八幡を中心とする北九州西部地区においては、平成27年の急性期病床3024床、慢性期病床1988床ですが、6年後の平成33年の必要病床数は急性期2857床、慢性期1785床と推計されています。逆に回復期病床は不足しており、現在996床ですが6年後の必要病床数は1427床と推計されています。救急医療を含めて地域における医療提供体制のバランスや、地域包括ケア病棟、回復期病棟の各施設における機能分化の調整も必要となってくると考えられます。

本年は八幡医師会創立100周年という節目の年です。3月には100周年記念行事や100年史発刊も行われ、会員の先生方には大変お世話になりました。おかげさまで素晴らしい100周年記念行事と100周年史ができました。3月には看護学院校舎の増改築も終了し、4月からは新しく看護師科3年課程も始まります。これまでの100年間、八幡の地域医療を支えて頂いた先人達に感謝と敬意を捧げると共に、これからの八幡の地域医療を、これまで以上にしっかりと支えていく必要があると改めて肝に銘じている所です。地域包括ケアシステムを構築するためには、在宅を中心とする患者さんへの医療・介護の切れ目のないサービス提供や支援体制、多職種との連携協働が非常に重要です。多職種連携研修会や訪問看護ステーション連絡協議会などを通じて医療・看護・介護への啓発、研修を充実させていきたいと考えます。八幡医師会医療・福祉センター、八幡在宅医療・介護連携支援センターに加えて、昨年11月に立ち上げた八幡医師会在宅医会をもっと活性化させ、地域にあった八幡医師会地域包括ケアシステムの構築が必要と考えています。

会員の皆様への様々な情報提供、研修会の開催などに加え、地域医療の安定的な供給に資するため以下の重点項目を推進してまいりたい所存です。会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

重点項目

1. 救急医療を中心とする地域医療提供体制の再構築

医療機関や市民に対する広報を充実させ、無用不急の救急受診を減らすことにより救急医療担当者の負担軽減を目指す。また、二次救急医療を担当する救急告示病院及び行政との連携を強化し、市民が安心のできる救急医療体制を構築する。

2. 災害医療への取り組み

災害時に医師会として地域で医療活動等を実施する体制を整え、技術を修得するため、八幡地区及び周辺の戸畑区、若松区、遠賀・中間地区で三師会が連携する災害時医療救護訓練・研修会を実施するとともに、災害時、緊急時の連絡網を構築する。また研修会においては、実際に被災地で活動した医師や救急隊による講演や指導を企画し、より現場に近い内容を学べるようにする。

3. 勤務医・研修医との連携強化

大学医局に所属していない勤務医・研修医が半数を占める現在、生涯学習および地域医療連携の手段として医師会への所属を促し、八幡が彼らの第二の故郷となるべく地域全体で育成に取り組む。

また、平成21年に立ち上げた八幡医師会臨床研修医懇話会、超音波研修会を更に発展・充実させるとともに、勤務医に対して医師会が開催する研修会への参加を引き続き積極的に働きかける。

4. 在宅医療・介護連携支援センターの強化

地域包括ケア推進のために、在宅医療・介護連携支援センターの機能を強化して八幡医師会訪問看護ステーションと協力し、病院と診療所の連携のために中心的な役割を担う。そのために多職種が連携して在宅医療の推進できるように邁進する。

5. 新生児・乳幼児虐待への対応

死亡事例の8割以上を占める新生児、乳児および幼児への虐待を未然に防ぐため、周産期から産婦人科医・小児科医・精神科医が、行政と連携をとりながら、実効的な活動・方法等の検討を行う。さらに保育園、幼稚園とも連携の上、養育者の育児ストレスを早期に発見し解決の方法を検討するためのネットワークを構築する。

6. 精神保健対策の推進

平成25年度に立ち上げた八幡精神科医会を軸として、産業医との連携及びアルコール依存症対策と自殺対策として一般医との連携を図るため、産業医との合同研修会、一般医との懇談会、その他地域の他職種との連携事業などを実施する。

かかりつけ医と精神科専門医の相互理解と連携を深め、精神科患者の紹介等をより緊密にし、また、かかりつけ医の精神科疾患への対応能力強化を図るために合同カンファランス等の開催を企画する。

7. 広報活動の推進

対内広報の充実を図るとともに、市民に医師会活動を理解していただくため対外広報誌の発行を昨年に引き続き検討する。また、ペーパーレスの時代に対応するために、ホームページの充実を目指す。

8. 次代の医師会を支える人材の育成

医療は適切な医療制度なくしては出来ないことに鑑み、医療制度改革に関する理解を深めるために各種委員会、地区委員会、地区常会で討論を行い、次代の医師会を担う人材が育つ土壌を形成する。また、各種委員会への参加を医師会会員へ広く求め、会員のさまざまな意見をくみ上げる場を設ける。

9. 八幡医師会（医師・医療従事者）無料職業紹介事業の推進

会員医療機関の医療従事者確保のために、平成21年5月に新設した八幡医師会無料職業紹介事業を推進する。

10. 看護専門学院の将来検討

八幡医師会看護専門学院の准看護師科を継続し、現在新設中である看護師科3年課程（レギュラーコース）の学習環境の整備を行い、医師会および会員が一体になって看護専門学院の安定した運営を行う。医師会が看護師を育成することにより、地域医療の看護体制を維持し、地域医療の基盤を支える。

11. 医療・福祉センターが持つ在宅医療部門の強化

地域における医療・介護ニーズの高まりを受け、小児から高齢者を対象に質の高い訪問看護を実施する。在宅での看取りを充実させるとともに、居宅介護支援・介護予防支援を強化し地域包括ケアシステムの構築を目指す。

12. 八幡地区の医療供給体制の強化

八幡には多数の基幹病院があり、八幡医師会会員医療機関と連携をとりながら高度な医療を提供してきた。平成28年4月に北九州市立総合療育センター西部分所が八幡西区青葉一丁目に開所した。平成30年には旧尾倉小学校跡地に北九州市立八幡病院が新築移転する予定である。現在でも八幡は医療供給体制として恵まれた地域であると考えているが、今後も身体の不自由な高齢者や認知症の方、障害を持つ児童とその家族が今以上に安心して暮らして行ける街にするために、地域包括ケアシステムの完成とより良い医療の提供体制確立を目指して行く。そのためにも、八幡医師会と行政・基幹病院との連携を持続し一層強化する。

13. 福岡県医師会診療情報ネットワーク（愛称；とびうめネット）の拡充

地域医療を充実させるためには医療連携が重要となる。そこで、福岡県医師会診療情報ネットワーク（愛称；とびうめネット）への会員の参加を促進し、救急医療の現場での患者情報へのアクセス、医療機関との連携の簡易化を目指す。多数の医療機関に参加を求めるためには、システム導入の簡便化、患者情報入力・更新の簡易化が必須であり、その改革を推進するために、北九州市医師会と協力し福岡県医師会へ強く働きかける。

事業内容

1. 医道倫理の高揚
 - (1) 自浄作用活性化
2. 医療安全対策
 - (1) 医療事故・院内感染防止対策
 - (2) 西部地区医療安全連絡協議会の活動支援
3. 地域医療対策
 - (1) 救急医療提供体制の再編強化と救急医療ネットワークの推進
 - (2) 災害医療対策
 - (3) 医療機関の連携推進
 - (4) 在宅医療・緩和ケアの推進
 - (5) 勤務医・研修医との連携推進
 - (6) 市民センター顧問医事業の推進
 - (7) とびうめネットの推進と拡充
4. 地域保健対策
 - (1) 特定健診・特定保健指導
 - (2) 各種検診（がん検診を含む）
 - (3) 予防接種対策
 - (4) 母子保健対策
 - (5) 母体保護対策
 - (6) 成人・老人保健対策
 - (7) 学校保健対策
 - (8) 産業保健対策
 - (9) 感染症対策（新型インフルエンザを含む）
 - (10) 精神保健対策
5. 医学振興対策
 - (1) 生涯教育の推進
 - (2) 分科会活動の支援
 - (3) 臨床研修医への教育プログラムの作成、実行
6. 医療・介護対策
 - (1) 医療保険対策
 - (2) 労災・自賠責医療対策
 - (3) 介護保険対策
7. 広報活動の推進
 - (1) 八幡医師会報の発行
 - (2) 対外広報誌の作成
 - (3) ホームページの充実
8. 医業経営対策
 - (1) 労務対策
 - (2) 無料職業紹介事業の推進
9. 八幡医師会看護専門学院対策
10. 八幡医師会医療・福祉センター事業対策